

進路便り

第2号 2021年6月8日(水)
佐賀県立佐賀東高等学校 進路指導部

3年生にとっては最後の高校総体。どうだったでしょうか。結果はともかく、最高の時を過ごすことができましたか。一つの区切りとしての高校総体も終わり、3年生はいよいよ自分の進路実現に向けて最高に頑張る時期が来ました。ここである話をしてみたいと思います。

目標を設定する時に大切なこと。

それは、目的の目的を問うていき、真の目的(最上位の目的)を確認した上で、その目的のための手段として目標を設定することでした。もう一つ、目標設定する上で非常に大切なことをお伝えします。それは、「自分の価値観に基づいた目標」を設定することです。価値観とは、自分の判断基準のベースとなる考え方です。もし自分の目標が、この価値観に沿ったものでなければ、達成を目指す過程でモチベーションを維持するのに、余計なエネルギーを必要とします。また、仮に達成したとしても、「目標は達成したが、望む人生は実現していない」ということにもなりかねません。目標を達成したのに満たされない感じやむなしさが残ったりするケースは、多くの場合、価値観に沿わない目標を追いかけているのです。さて、そこで、自分の価値観を探るための質問をいくつか紹介します。ぜひ、じっくり考えて答えてみてください。頭の中で答えるのではなく、紙に書き出すなどの形でアウトプットされることをおすすめします。何かが見えてくるとと思います。

- (1) 「あなたは、どんな時に心からの満足感や喜びを感じますか？」
- (2) 「あなたが、子どもの頃からワクワクしてきたのは、どんなことですか？」
- (3) 「あなたは、10年後どんな人になりたいですか？」
- (4) 「あなたが充実した人生を送るために、これだけは実現したい！と思うことは何ですか？」
- (5) 「失うと生きる気力がなくなってしまうものは何ですか？」
- (6) 「もしもお金の心配がまったくなかったら、どんなことをしたいですか？」
- (7) 「どんな人を尊敬していますか？また、その人のどんなところを尊敬していますか？」
- (8) 「あなたが亡くなった後に、誰に何を残したいですか？」

そして、最後に、非常に強力な質問です。
ぜひ、ご自分の答えを出してみてください。

- (★) 「もしもあなたの人生が、残り3日間しかなかったら、この3日間何をしますか？」
「野口義則 公式ブログより」

どうだったでしょうか。3年生だけではなく、ぜひ1, 2年生も真剣に考えてみてください。自分の大きな力となるはずですよ。

進路指導部 山口 英樹

これからのおもな進路行事

6月 放課後補習（全学年）	6/18 土曜講座（3年）
6月 インターンシップ説明会（2年）	7/6 マナー講座（3年）
6/4 実力診断テスト（3年）	7/9 土曜講座（全学年）
6/4.5 進研共通テスト模試（3年）	7/12 職業理解ガイダンス（1年）
6/6 難関大学希望者講演会（3年）	7/16 進研模試（全）
6/7 進路別説明会（3年）	7/25～ 夏季補習（全）
6/8 看護・医療ガイダンス（3年）	

英文にチャレンジ！！

(1) Today, we believe that essential aspects of character are formed in childhood and adolescence. We understand the young have different needs and experience the world differently from adults. We can even see that adults themselves have been influenced by a modern emphasis on youth. However, historically this wasn't always so. The development of modern industrial societies has brought about a fundamental change in ideas about childhood and youth.

(2) As the historian Philippe Ariès has pointed out, modern attitudes towards childhood and youth stand in contrast to views of the young in earlier periods. Ariès has noted that many Europeans in the Middle Ages did not know when they were born or how old they actually were. The idea that one becomes an “adult” when one turns a certain age (for example, on one's twentieth birthday) did not exist. Thus, the difference between childhood and adulthood was not clear, and children were often treated in the same way as adults. In medieval France, few children went to school and six-year-olds worked in the fields alongside their elders. Ariès even suggests that the concept of childhood itself did not exist in the Middle Ages.

問1 The historian Ariès argues that in the Middle Ages,_____.

- ① children enjoyed helping their parents
- ② parents were too busy to think about children
- ③ people had only a vague idea about age
- ④ the young had difficulty finding work